

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公開番号】特開2000-281860(P2000-281860A)

【公開日】平成12年10月10日(2000.10.10)

【出願番号】特願平11-92301

【国際特許分類】

C 08 L	51/04	(2006.01)
C 08 J	7/04	(2006.01)
C 08 J	7/06	(2006.01)
C 08 L	25/12	(2006.01)
C 08 L	55/02	(2006.01)

【F I】

C 08 L	51/04	
C 08 J	7/04	C E Q B
C 08 J	7/06	Z
C 08 L	25/12	
C 08 L	55/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月29日(2006.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ゴム質重合体にビニル系単量体をグラフト重合させて得られるゴム含有グラフト共重合体(A)と、芳香族ビニル単量体、シアノ化ビニル単量体及び必要に応じて用いられる他の単量体を共重合して得られる硬質共重合体(B)とを含み、全ゴム含有量が25~60重量%である熱可塑性樹脂組成物であって、該熱可塑性樹脂組成物の成形時の成形収縮率が0.50~1.70%であり、得られる成形品の23~80の範囲における線膨張係数が 6.0×10^{-5} ~ 12.0×10^{-5} cm/cmであることを特徴とする熱可塑性樹脂組成物。

【請求項2】請求項1において、該硬質共重合体(B)は、シアノ化ビニル単量体含有量が30~45重量%であり、重量平均分子量が15万以下であることを特徴とする熱可塑性樹脂組成物。

【請求項3】請求項1又は2に記載の熱可塑性樹脂組成物を成形して得られた成形品に塗装又はメッキ処理等の加飾処理を施してなる自動車用部品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明の熱可塑性樹脂組成物は、ゴム質重合体にビニル系単量体をグラフト重合させて得られるゴム含有グラフト共重合体(A)と、芳香族ビニル単量体、シアノ化ビニル単量体及び必要に応じて用いられる他の単量体を共重合して得られる硬質共重合体(B)とを

含み、全ゴム含有量が25～60重量%である熱可塑性樹脂組成物であって、該熱可塑性樹脂組成物の成形時の成形収縮率が0.50～1.70%であり、得られる成形品の23～80の範囲における線膨張係数が 6.0×10^{-5} ～ 12.0×10^{-5} cm/cmであることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

このような全ゴム含有量とすることにより、本発明の熱可塑性樹脂組成物は成形時の成形収縮率が0.50～1.70%で、23～80の範囲における線膨張係数が 6.0×10^{-5} ～ 12.0×10^{-5} cm/cmとなるように調製する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

実施例1，2、比較例1～3

ゴム含有グラフト共重合体(A)と硬質共重合体(B)とを表1に示す配合割合で、更に、0.5部の滑剤(日本油脂(株)製「PRN-208」)と共に混合させた後、220で2軸押出機(東芝(株)製「TEX-44」)にて溶融混合し、ペレット化した。この樹脂ペレットの全ゴム含有量は表1に示す通りである。この樹脂ペレットを4オンス射出成形機(日本製鋼(株)製)にて260にて成形し、必要なテストピースを作成し、各種物性ないし特性を下記の方法で測定し、結果を表1に示した。なお、表1には、参考のため、下記3種のPP樹脂の成形収縮率及び線膨張係数を併記した。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

【表1】

配合 (部)	実施例	比較例			参考	
		1	2	3		
測定結果	ゴム含有グラフト共重合体(A)	40	47	65	100	30
	硬質共重合体(B)	60	53	35	0	70
	全ゴム含有量(重量%)	26.0	30.6	42.3	65.0	19.5
	成形収縮率(%)	0.52	0.81	1.58	1.65	0.46
	線膨張係数($\times 10^{-5}$ cm/cm·°C)	6.7	8	12.3	14.7	5.8
	メルトフローインデックス(g/10min.)	12	8	6	3	18
	アイソット衝撃強度(kg·cm/cm)	50	63	75	破壊せず	33
	曲げ弾性率(kg/cm ²)	19000	16000	11000	3600	21000
	ロックウェル硬さ(Rスケール)	96	93	53	33	102
	塗装性(表面外観)	○	○	○	△	○
	塗装性(密着強度)	○	○	○	○	○
	メッキ性(ピーリング強度:kg/cm)	1.4	1.6	1.8	2.4	0.8
					0.4	0.2
					メッキ不能	